摩擦損失水頭算定書

1	換算管長を求める。 (90° エルボ 使用個数) ×	(A表の数値) (45 +	゜エルボ使用個数)	(A表の数値)] × [
+	(逆止弁の使用個数) ×	(A表の数値) (仕 +	切弁の使用個数)	(A表の数値) ×
	(換算管長)	1		
=	m	J		
2	管長を求める。 (実際の管長) m +	(前1の換算管長) - m	(管	長) m
3	摩擦損失水頭を求める。 (前2の管長) m ×	(B表の数値) m	(摩擦技	損失水頭) m
4	損失水頭求める。 (前3の摩擦損失水頭) m +	(採水口からの落差 - m) (損失	失水頭) m
	(損失水頭)			

m < 6.60mならば吸水可能である。

(注) 上式を満足しない場合は、口径を換えて計算しなおす。

〔A表〕

よって、

口径A	90° INT	45° INT	逆止弁	仕切弁			
100	3. 2	1. 5	8. 7	0. 7			
1 2 5	3. 9	1. 8	10.9	0.8			

〔B表〕

口径A	定数
100	0.0446
1 2 5	0.0155